

ごろつき船

帝キネ

時代映畫

原作者 大佛次郎  
脚色者 日比野重亮  
監督者 渡邊新太郎  
撮影者 高橋武則

主要役割

土屋主人正 明石緑郎  
うさぎの惣吉 中山誠太郎  
三木原伊織 望月三子  
妻お糸 川登美子  
後の春江 平塚三郎  
南方圭之介 藤原麗三郎  
赤崎屋五兵衛 東海老三郎  
蠣崎主殿 鈴木龍彦  
銀之助 上野千枝子  
同成人後 園水千枝子  
乳母お谷 大草丸  
丸子の吉五郎 大内支庵  
金剛嘉助 浅野野間  
覺圓和尚 中野野間  
土屋翁四郎 吉頂寺  
妻織江 三笠加壽  
流山桐太郎 結城重三郎  
お琴津 九條和子

寫 一ごろつき船—帝キネ渡邊新太郎作品。  
眞 右より明石緑郎と中村靉。



田島屋十兵衛 大野三郎  
八幡屋六右衛門 片岡好右衛門  
略筋—松前藩福山城下は幕府の威令も及ばず  
家老蠣崎主殿は奸悪の豪商赤崎屋五兵衛と結託  
して松前一藩乗っ取りを企て、施政は亂れに亂  
てゐた。

彼等の血祭に上げられたのは赤崎屋の目の上  
の瘤さも云ふべき八幡屋であつた。  
禁制の異國との取引をした云ふのが八幡屋  
取潰しの理由だつたが、實は赤崎屋が己れの犯  
行を蔽はんが爲、蠣崎と腹を合せたに過ぎな  
つたのである。

物語は八幡屋の焼打ちに初まり、邪に與する  
もの、正に味方するもの、無慮數十人、怒濤荒  
れ狂ふ北海の洋上から、本土一圓をめぐつて、  
清廉なるが故に八幡屋と同じマナに陥り、八幡  
屋の一子銀之助を助けて重圍を脱し、ために最  
愛の妻子に生死不明の悲しみを與へねばならな  
かつた三木原伊織、一片の俠氣からこの渦中に  
飛び込むうさぎの惣吉、何のためか五年の間壁  
の蝦夷となつてゐた謎の直參土屋主人正、密快  
俗を超越せる怪僧覺圓和尚、そして更に怪船一  
まぐるしい活躍は展開されるのであつた。